

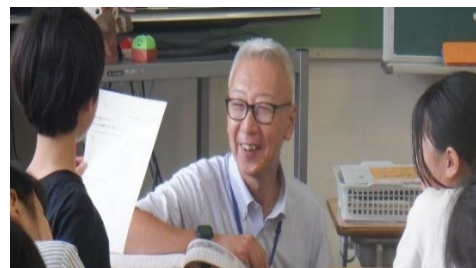
二宮小学校における学校研究・・・「駅前広場は自転車置き場？」

7月2日(木)に二宮小学校にて校内授業研究会が行われました。5学年を担当する先生方がより良い授業実践に向けて話し合いとプレ授業を重ねてきました。

5年3組の担任である鈴木那緒先生が道徳の研究授業(教材名:駅前広場は自転車置き場?)を行いました。鈴木先生は児童たちに『決まりを守る心』に注目し自分事として捉えるようアドバイスした後、資料を範読しました。

先生は、「どうして自転車を置くのだろうか？」をまず児童に質問しました。その後、「置かない人はなぜ置かないのだろうか？」を聞きました。さらに、「自転車とゴミが減ったのは？」についても質問しました。児童たちはどの問いに対しても挙手し、自分の意見を堂々と発言していました。鈴木先生は全ての児童の発言をしっかりと受け止め、黒板に分かり易く書き留めていました。

その後、授業の中心質問である「なんできまりがあるのか?どうして決まりを守るのか?」についてしっかりと考えるよう伝えました。児童たちはワークシートに自分の考えを記述した後、隣や近くの友達と意見交換を行いました。先生は友達の意見を聞いて『なるほど』と思ったことは赤鉛筆で付け足すようにアドバイスをしました。さらにその後、児童は自席に戻り、自分の考えを積極的に発言しました。しばらくしてから先生は「二宮駅の前に自転車がワーツとあったらどうかなあ」と児童に聞きました。すると「いやだ」「気持ち悪い」という声が自然にわいて出てきました。その後、授業のまとめとして先生は、「これから生活する上で、みんながすぐに出来る事が出来たら良いですね。」と児童に伝え授業を終えました。



昨年度に引き続き今年度も二宮小学校は『自ら進んで学び続ける子どもを目指して ～どの子も「分かった、できた、楽しい」を実感する授業づくり～』を研究テーマに研究を重ねています。授業後、すべての教員が一同に会し、グループごとに研究授業を振り返りました。先生方は、『自分の考えをもち表現できていたか?』『話し合いや導入の工夫について』『道徳的諸価値の理解について』の3つについて意見交換と協議を行いました。その後、校内研究の講師である横浜国立大学教職大学院教育学研究科高度教職実践専攻教授の青木弘先生より指導講評をいただきました。

先生は、サッカーワールドカップの日本代表が『なぜ、世界のレベルに近づいてきたのか?』から話を始められました。日本サッカー協会のHPの資料を活用し『個別最適な学び』と『発達の段階に応じた指導』が大切であり二宮町が取り組んでいる小中一貫教育の目指すところに通じているという助言をいただきました。さらに、授業改善の指針として『教師は脇役、子どもが主役』『考えて議論させる道徳へ』等のアドバイスをいただきました。

研究会に取り組む二宮小学校の先生方の姿には、昨年度以上に今後も子どもたちと共に学び続け、教師として成長していこうとする前向きさを感じました。・・・すべては「にのみや学園の子どもたち」のために・・・

感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

